

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【人文社会学系】

毎回授業内で課すレポート(思考力, 関心, 表現:30%)と特定のテーマに関するレポート(思考力, 関心, 表現:20%), 最終試験の得点(知識/理解:50%)の合計で評価した。

授業への参加度(取り組み方), 試験やレポートの成績などにより, 心の発達と適応, 教育相談の実際に対する理解の程度を総合的に評価した。

- ・授業感想の質、グループワークで行った課題提出の質、ペーパー試験で評価している。
- ・受講者の提出した課題、答案、感想から、各評価の典型となるものを抽出し、それらをもとに評価する

出席、小テスト、そして最終試験を総合して成績の結果を出しました。

基本的にはシラバスに示した項目と配点に基づいている。それぞれの項目の基準点を決め、授業中の学生のパフォーマンスや提出物を勘案して、基準点からプラスしたり、マイナスしたりして調整している。

以下の3点から総合的に評価した。①受講に際して当事者意識を持って能動的に参加したかどうか。②授業ごとに提出するコメントシートで個別・具体的課題に適切に取り組めているか。③学期末に提出するレポートで総括的把握ができていないかどうか。

【M1国語科教育A(学籍番号 偶数)】

提出物(ミニレポート、ワークシートを含むプリント) 40%

平常点(授業の参加度、発表、課題、出席) 20%

最終レポート 40% を総合して出しています。

【S2国語科研究A I(学籍番号奇数)】

上記の内容に、書写の成績(書写担当者による)を合わせて 出しています。

試験結果に出欠状況を若干加味。五回欠でD。

① 毎回の授業における学生個々の動きを見つめる。見つめる観点は、関心や意欲、グループ活動への参加度、教材研究の深まり、模擬授業における参加度を5段階評価。

② 「社会参画意識を高める社会科の授業の在り方について」のレポート評価

* ①、②から教材研究や模擬授業に対する実践的な能力とレポートや模擬授業の反省等の資料から理論的な能力を評価している。

・ほぼシラバスで示したとおりに評価した。また、最終レポートは、ルーブリックを示して、学生に見通しを持たせた。

・学生への評価は、S…1人、A…22人、B…28人、C…2人であった。問7(この授業の目標が達成できた)の学生の自己評価観は、強くそう思う…19人、や やそう思う…27人、どちらともいえない…4人、あまりそう思わない…1人であり、学生の自己評価観からは若干下回ったが、学生の理解や意欲、努力に沿った評価結果が出たのではないかと思う。

基本的にはレポート内容が多くの割合を占めている。が、授業中の活動も多く、それらへの取り組み方、また出席状況を勘案して成績を出している。

4月の1回目の授業時に説明したシラバスに沿って、評価をしました。
平常点40% 毎時間提出のワークシートの合計です。多忙な4年生に応じて、授業内で書けなかった場合、後で提出したワークシートもすべて同様に評価しました。毎時間こつこつと積み上げている受講生のワークシートの内容が充実したメモになっていきました。

中間レポート10% 前半の時期に教科書に指定した新書のワークシートをもとに、読みの8つの戦略と学校教育を関連させて記述してくれました。レポートでは正解が一つあるわけではないので、受講生が経験してきた国語教育と8つの戦略を思考しながら組み合わせて記述するレベルになりました。

最終レポート50% 後半の授業5回をもとに、自分で本や教科書を読みながらメモし、そこから思考した内容をもとにレポートに整理できました。文章表現力の違いや俯瞰的な思考能力の違いが評価の差になりました。

他の学生に説明する課題担当者としての評価2回、授業中の課題に関する個人のまとめ6回、テーマを選んだレポート1回、個人発表1回、学生相互の評価などの合計点で評価した。

それぞれの領域ごとに、あらかじめシラバスで示したタイミング・配点で評価し、累積していった。

レジュメの内容(20%)、ディスカッションへの参加の積極性と各回のコメントシートの内容(30%)、中間レポート(25%)、期末レポート(25%)をもとに、総合的に評価致しました。

関心意欲態度 :出席 (10)
知識理解 :毎時のワークシートのまとめ、振り返りの記述内容(20)
思考表現 :5年「災害を防ぐ」単元 構想作成物 (20)
思考判断表現 :筆記試験「見方・考え方を鍛える社会科授業の単元構想と授業実践」(50)
このことに加え、総合的に、教師としての資質、学習に向かう態度、対話力等を加味した。

シラバスで提示した各観点の基準に従って、学生一人ひとりの観点別素点を割り出し、その合計点を学生個人の評価点として教務課に報告した。シラバスに提示した観点とは、①出席状況10%、②授業への積極性(発言など)10% ③授業の振り返りの記述内容10%④指導案の出来具合10%⑤試験の記述内容60%である。

◎3631121(3年生)と4631141(4年生)の共通

毎回の授業で提出する板書例や課題を含めて、授業に積極的に参加し主体的に学んでいるかを25%、模擬授業を25%、そして、筆記試験を50%として成績を出しました。筆記試験の半分は模擬授業についての問だったので、模擬授業は全体の50%の割合になっています。なお、模擬授業については、教育現場で修正が可能なことについては大目にみるとともに、教材研究の姿勢など、教育現場に出かける前に身につけなければならないことについてはその徹底をはかりました。なお、3年生と4年生とでは、教育実習の有無の差があるので、その点は考慮しました。

◎3631121(3年生)

教育実習を行っていないので、十分な教材研究、教壇での姿勢など、教員としての基礎・基本を重視しました。

◎4631141(4年生)

教育実習を行っているので、学習指導案、模擬授業、ともに完成度の高いものを求めました。

授業への参加態度30%、振り返り30%、プレゼンテーション40%

授業で話した内容や教材についての要点が理解できているか、筆記試験や提出物(コメントシートを含む)等によって評価する。

コメントシート(20%)や授業内で課すシート(30%)、まとめのプリント(50%)で総合的に評価する。グループワークにおいては、グループ内でも参加度合いが異なるので、机間巡視等で公平に成績評価するよう心掛けた。